

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスばるみどり(児童発達支援)		公表日	令和6年12月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	大きな柱や部屋の形、元々ある物なので改善はできませんが、その柱を利用した遊びの工夫をしている。 必要時はパーテーションで区切って、活動がわかりやすいようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	基準配置+加配の職員で3人から4人の指導員で行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	子どもにわかりやすい導線づくりを心掛けたり、必要な視覚支援をいれながら活動をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	カーペットは一枚ずつはがすことができるので、汚れた時には洗うようにしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アンケートだけではなく、直接保護者の方たちにお声かけをしている。	
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員全員で共有し、共通理解で取り組んでいる。	
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	月1回、ばる全体の研修会を設けている。法人内で決められた時間で個人で学ぶものがある。	
適切な支援の提供	9	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	保護者の方からのニーズ確認をその都度行い、個別支援計画の係る会議を職員で行って個別支援計画を立案している。	
	10	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	時間が取れないものの、教室のない時間や間の時間に課題や、保護者の思いなどを伝え話し合っている。	
	11	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	保護者の方への支援計画の伝えの後、職員間で情報共有を行っている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	本人支援の5領域と家族支援、移行支援は入った支援計画を立てている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	療育開始前に打ち合わせを忘れずおこなっている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	療育開始前に打ち合わせを忘れずおこなっている。	
	16	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別課題を入れ込みながら、少人数での集団活動での活動を考えて支援している。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	療育開始前に打ち合わせを忘れずおこなっている。		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童デイサービスばらみどり(児童発達支援)	公表日	令和6年12月20日
------	-----------------------	-----	------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	少ない時間で、その日の気づきを話し、共有している。	できている時とそうでない時がある
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の教室計画書の気づきを書く欄に記入したり、個々の子どもの記録は必ず書いている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6か月ごとの支援計画の前にモニタリングをしている。	
	21	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもが自己決定できるように、職員は声かけや支え方を工夫している。	
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	子どもの状況をよく理解している職員が参加している。	
	23	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保護者の方の希望で関係機関との連携を取っている。	
	24	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	必要に応じて行っている。	
	25	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	26	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
	27	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	特に気になったことは先にお伝えしている。送迎の時に、教室での子どもさんの様子をお伝えして、その時に課題や成長したことを確認している。	
	28	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	定期的に行っている。	
保護者への説明等	29	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時、内容が変わったときに説明している。	
	30	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	作成前にニーズの確認をその都度行っている。	
	31	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	6か月に1回個別支援計画を作成し、成長したこと、今後の課題を確認して同意を得ている。	
	32	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談されたら個別に時間をとり、助言したりしている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	すぐに上司に報告、相談して、指示を待つ。職員間の情報共有を行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人を特定できることが明記されている書類などはシュレッダーを活用し、職員も社外に持ち出さないようにしている	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童デイサービスばらみどりい(児童発達支援)					
			公表日		令和6年12月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	わかりやすく伝える工夫をしている。	
非常時等の対応	37	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	月1回避難訓練を実施している。	
	38	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に行っている。	
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	一覧表を作成し、全職員に周知している。	
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	保護者から直接伺っている内容を一覧表にまとめて、全職員に周知している。	
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	遊具などの安全点検を月1回行っている。 怪我がないように環境設定にも注意を払っている。	
	42	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	怪我や体調不良の急変の場合での対応の流れは契約時に保護者の方に確認をしている。	
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	報告書を作成している。	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期敵に研修会がある。（年3回くらい）	
45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			